

# 法華経 日めくり

令和5年 癸卯  
2023年

1月

1日

元日 先負 鼠  
旧12月10日

日曜

妙法蓮華經序品第一

如是 我聞

に よ

ぜ

が

もん

「ありのままの真実の教えを私は聞きました」

法華経の最初の一句です。

お釈迦さまの説法を聞いた人が、ありのままの真実の教えを間違いなく理解しようとした決意が込められた言葉です。

自分勝手な理解をせず、次に伝え聞いた人が誤った理解をしないように、真剣に聞く姿勢を示しています。

私たちもまずは、身近な人の話を真剣に聞いて気持ちを理解するよう努めましょう。

# 法華経 日めくり

令和5年 癸卯  
2023年

1月

2日 月曜

仏滅 参

旧12月11日

妙法蓮華経序品第一

一時仏住

「ある時、お釈迦さまは靈鷲山にお住まいでした」

「一時」つまり「ある時」の説法の記憶が法華  
経となりました。

經典では通常、説法の場所は示されても時期に  
ついては詳しく語られません。

それは、現在・過去・未来いつの時期の説法も  
全て真理であるから時期をあまり問題にしない  
ないということなのです。

仏さまの教えはいつ聞いてもよいのです。  
聞きたいと思った時が「ある時」です。

# 法華経 日めくり

令和5年 癸卯  
2023年

1月

3日

大安 井  
旧12月12日

火曜

妙法蓮華經序品第一

皆是阿羅漢

「お釈迦さまは阿羅漢とともにおりました」

お釈迦さまの説法の場にいたのは、声聞と呼ばれる修行者の最上位にある「阿羅漢」たちです。阿羅漢は煩惱を整理し、人々から尊敬されていましたが、せっかくの悟りを自分だけのものとして、人に伝えようとしなかつたため、仏には成れないといわれていました。

私たちは自分のことだけを考えてしまいがちです。皆が幸せになれるよう努めることが仏への道であることを肝に命じましょう。

# 法華経 日めくり

令和5年 癸卯  
2023年

1月

4日 水曜

赤口 鬼  
旧12月13日

妙法蓮華経序品第一

しょ

ろ

い

じん

諸漏已尽

「欲望に惑わされることなく」

「漏」とは欲望のこと。

人は自然と身の内から湧き出す欲望に動かされ生きています。

食欲は生きるために必要な欲望ですが、食べ過ぎれば健康を害するよう、欲望のままに生きていると、いずれ我が身を破壊します。

お釈迦さまの弟子の阿羅漢たちは、欲望に惑わされることがなくなるまで修行をした上で、説法が始まるのを待っていたのです。

# 法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

1月

5日 木曜

先勝 柳

旧12月14日

妙法蓮華経序品第一

む

ぶ

ぼん

のう

## 無復煩惱

「また煩惱は無く」

とんじんち

煩惱の根本には、貪瞋痴の三毒があります。

「貧」とは自分の都合のいいようにしたいという貪りの心。

「瞋」とは自分と考えが違うものに対して不快感を感じる怒りの心。

「痴」とは目の前のことばかり考えて周りのことは少しも考えない愚かな心。

いざれも小さな自己を中心として物事を考え  
る気持ちから起ころる迷いです。

# 法華経 日めくり

令和5年 癸卯  
2023年

1月

6日

小寒 友引星  
旧12月15日

金曜

妙法蓮華經序品第一

## 逮得己利

「心の迷いを取り除き、他者をも救う」

「逮得」とは完全に得ること、「己利」とは自分の心の迷いを取り除くこと。

自分が迷っていると人を救うことはできません。自分の迷いや悩みが無くすことを「自利」、他者の迷いや悩みを取り除くことを「利他」といいます。

「己利を逮得し」とは、仏さまの悟りを得て、心の迷いが無くなり、さらに世の中の人をも救うことができる状態になつたことを示します。

# 法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

1月

7

日

土曜

先負 張

旧12月14日

妙法蓮華經序品第一

尽じん 諸しよ 有う 結けつ

「差別に執着する心を取り除く」

「有」とは差別、「結」とは差別に執着すること。違のあるのは悪い事ではないけれど、その違いに執着して、お互い自分の都合で主張し合うと争いに発展します。

自分と他者を比べて、その違いに優越感や妬み嫉みを抱いてしまう浅ましさが「有結」です。頑固な「有結」を取り除くために、お互いの良いところを認め合い、敬い合うことから始めましょう。

## 妙法蓮華經序品第一

如是我聞。一時仏住。王舍城。耆闍崛山中。與大比丘衆。万二千人俱。皆是阿羅漢。諸漏已盡。無復煩惱。逮得己利。盡諸有結。心得自在。其名曰。阿若隱陳如。摩訶迦葉。優樓頻螺迦葉。伽耶迦葉。那提迦葉。舍利弗。大目嬰連。摩訶迦旃延。阿傾樓駄。劫賓那。隱梵波提。離婆多。畢陵伽婆蹉。薄拘羅。摩訶拘泣羅。難陀。孫陀羅難陀。富樓那彌多羅尼子。須菩提。阿難。羅睺羅。如是衆所知識大阿羅漢等。復有學無學二千人。摩訶波闍波提比丘尼。與眷屬六千人俱。羅睺羅母耶輸陀羅比丘尼。亦與眷屬俱。菩薩摩訶薩。八万人。皆於阿耨多羅三藐三菩提。不退転。皆得陀羅尼。樂說弁才。転不退転法輪。供養無量百千諸仏。於諸仏所。植衆德本。常為諸仏之所稱歎。以慈修身。善入仏慧。通達大智。到於彼岸。名稱普聞。無量世界。能度無數。